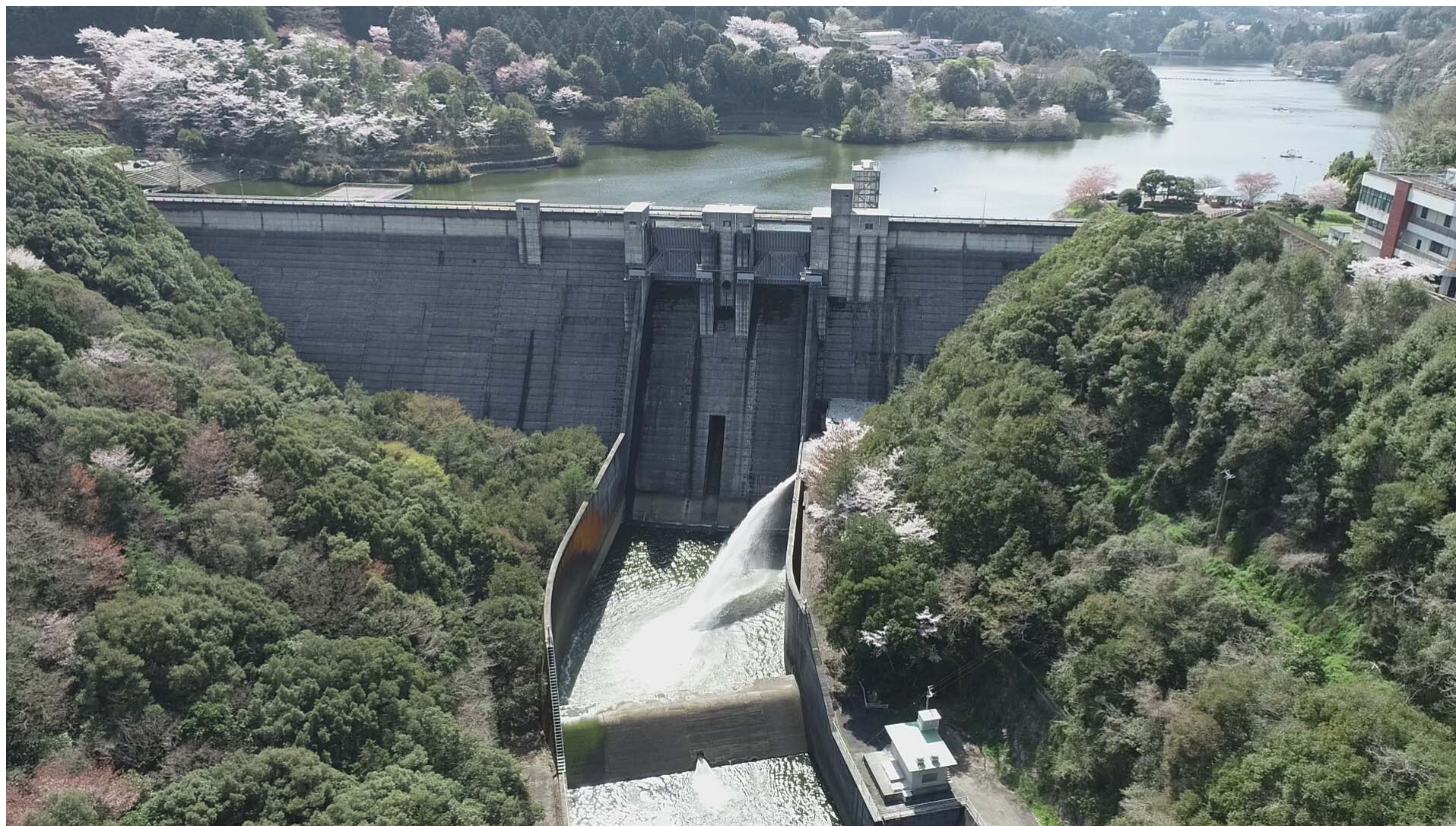


野村ダム改良事業の概要

つなごう 肱川



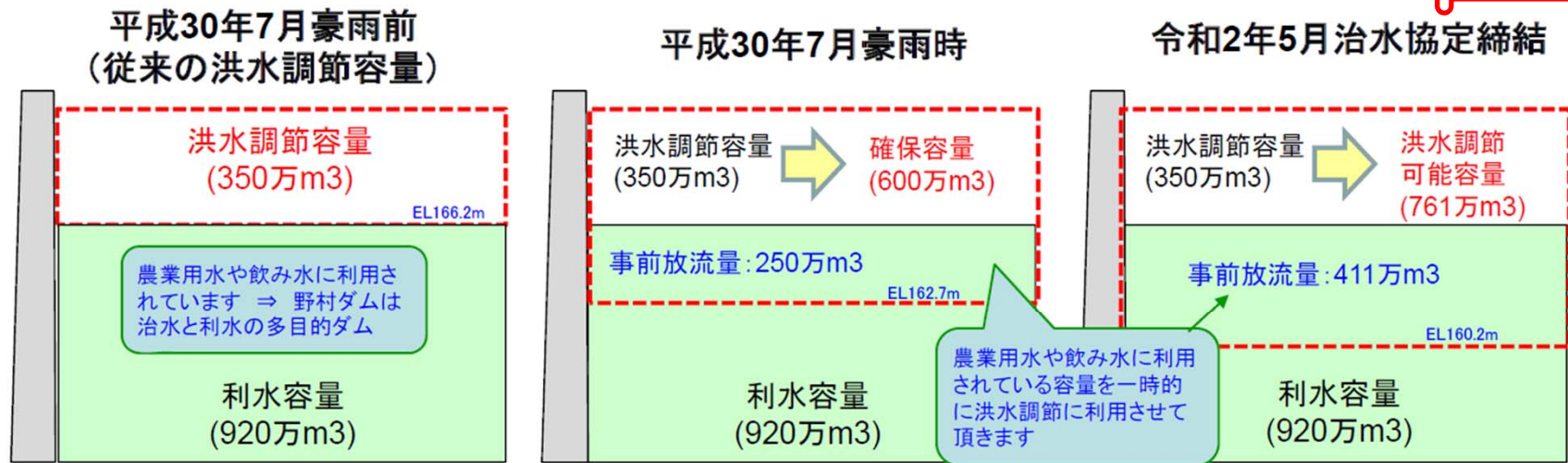
国土交通省四国地方整備局

- 野村ダムでは、洪水調節機能の強化を図るため、河川管理者並びにダム管理者及び関係利水者等の間で、**肱川水系治水協定（令和2年5月）**を締結。
- 洪水調節容量（350万m³）に加え、事前放流により一時的に洪水を調節するための容量（**洪水調節可能容量411万m³**）を確保。（**合計761万m³**）

肱川水系治水協定締結者

- 河川管理者 国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所長
愛媛県 土木部長
- ダム管理者 国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所長
- 関係利水者等 農林水産省 中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所長
愛媛県 公営企業管理局長
南予水道企業団 企業長

約2.2倍



・洪水期（6/16～10/15）は**350万m³**の洪水調節容量を常に確保。

・利水容量の一部（**250万m³**）を事前に放流（利水者の協力）

・従来の洪水調節容量350万m³に事前放流した**250万m³**を加え、**600万m³**を確保

・利水容量の一部（**411万m³**）を事前に放流（令和2年5月肱川水系治水協定）

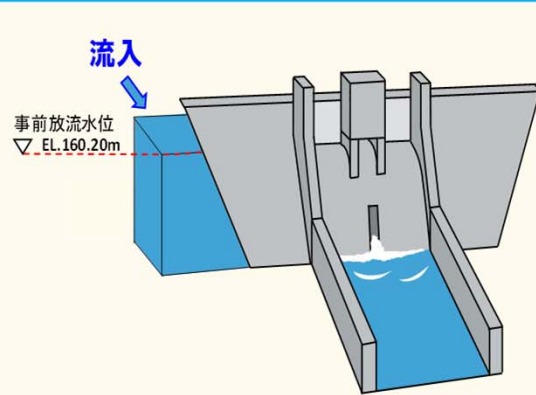
・従来の洪水調節容量350万m³に事前放流した**411万m³**を加え、**761万m³**を確保

※容量図については、容量の割合を図に表したイメージ図としておりますので、実際の貯水位のイメージとは異なります。

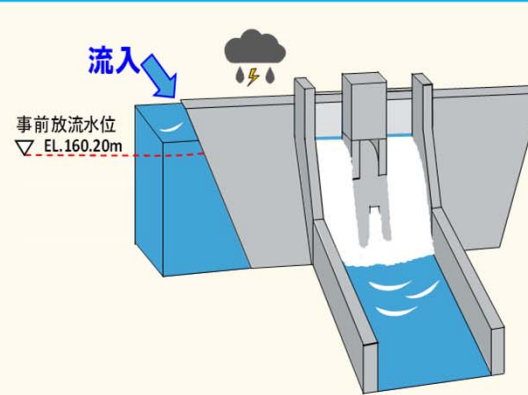
低下させた貯水位を維持するための増設放流設備

※この図はイメージであり、貯水位と放流設備の高さの関係は実際とは異なります。平成30年7月洪水と同規模の洪水を想定したイメージ図。

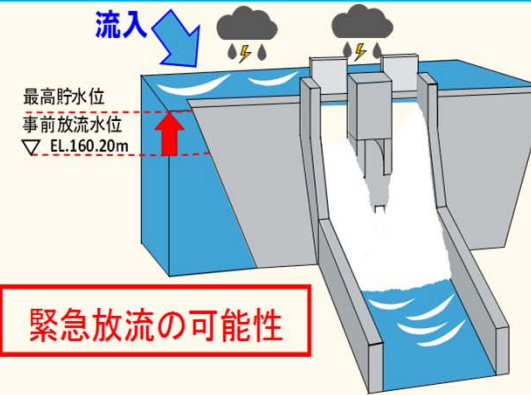
【改良工事前】



ダムの水位を下げても洪水を待ちます。

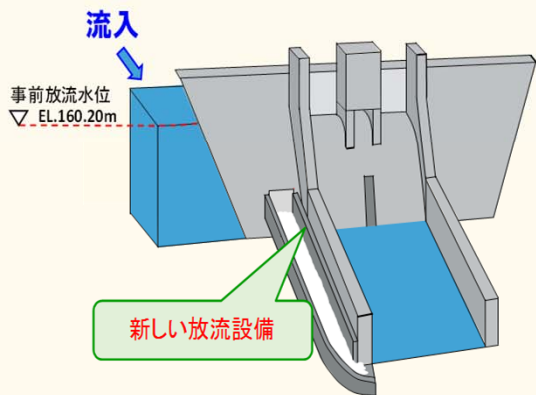


水位が低いと現在の放流設備では洪水初期に低い水位を維持できません。

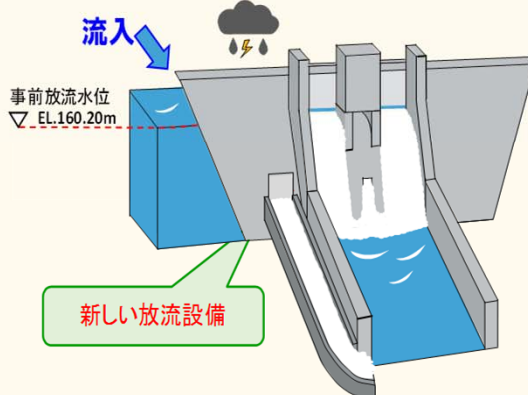


その結果、洪水ピーク前に容量を使い切ってしまうと、放流量を増やす緊急放流になる可能性があります。

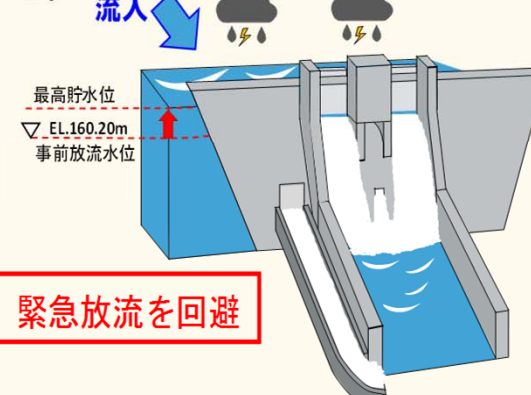
【改良工事後】



ダムの水位を下げても洪水を待ちます。

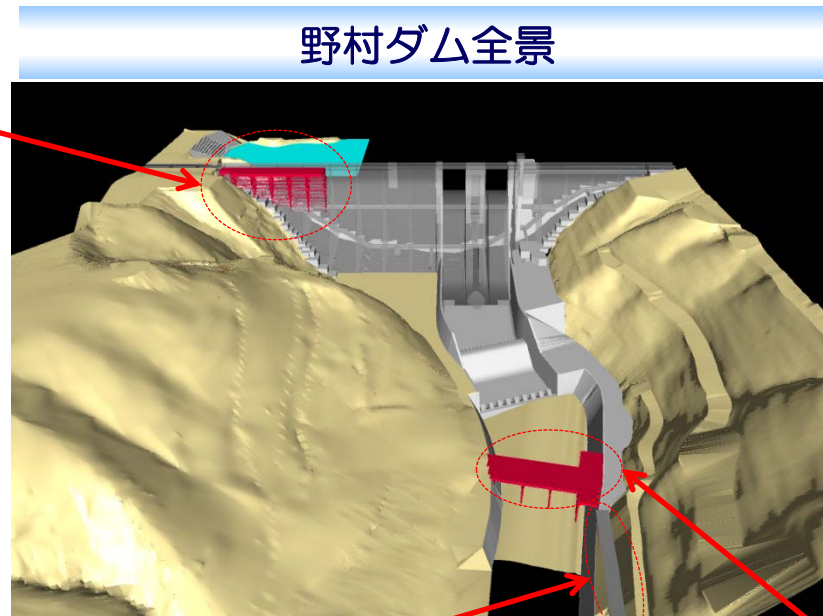


事前放流により低下させた低い貯水位を維持。放流量を調節しながら洪水を溜めます。



洪水ピークをダムに貯めて、洪水を安全に下流へ流すことができます。

現在の進捗状況（令和5年5月現在）

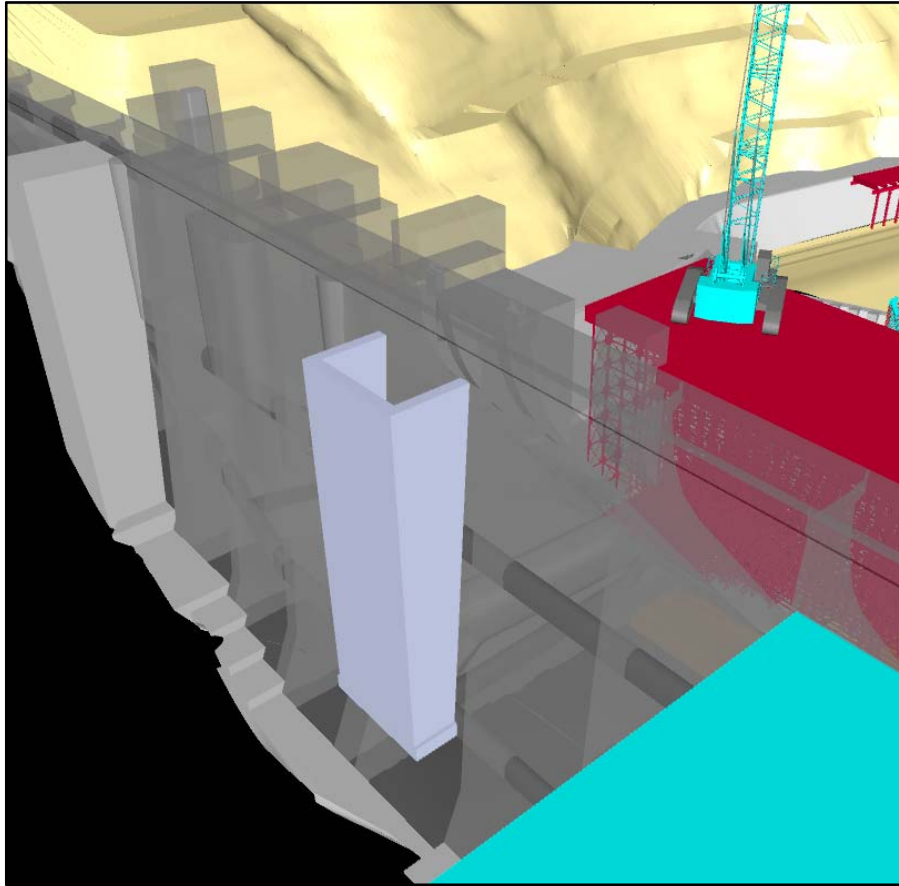
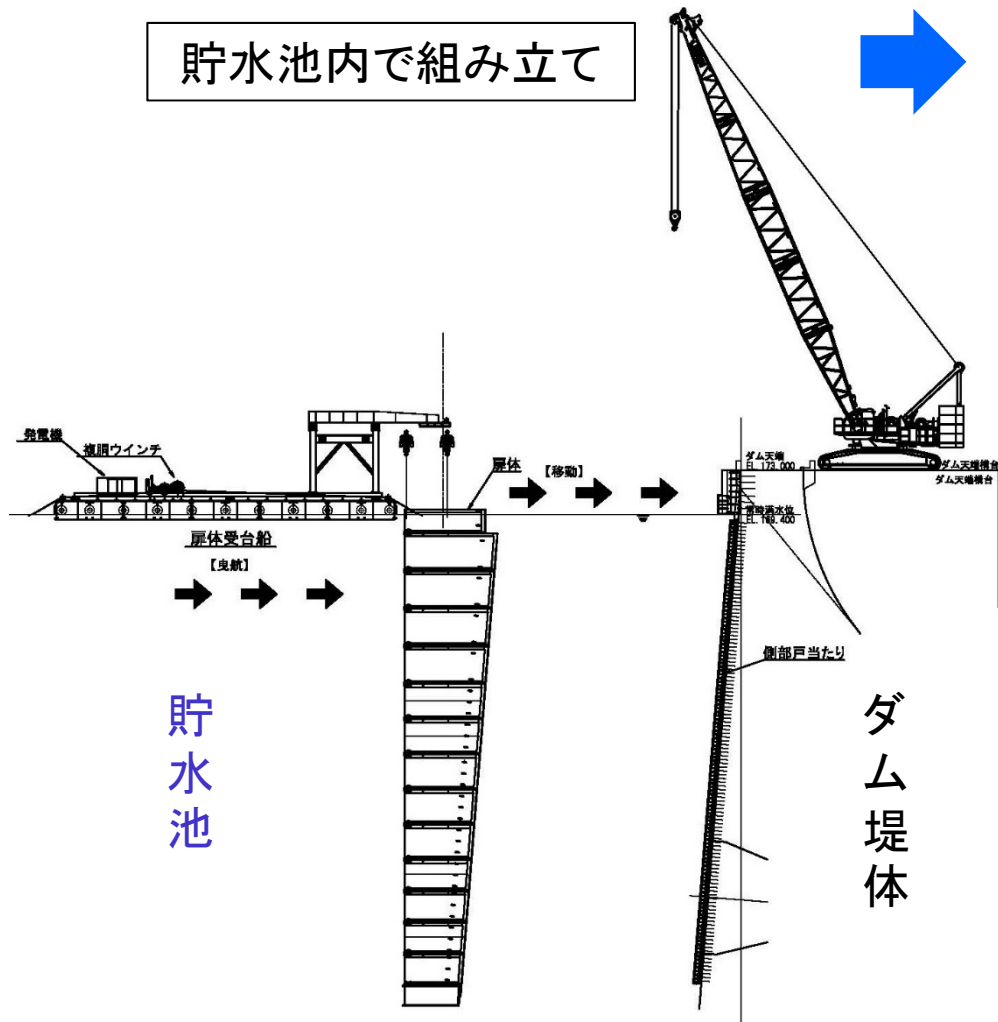


上流仮締切設置(令和5~7年度)

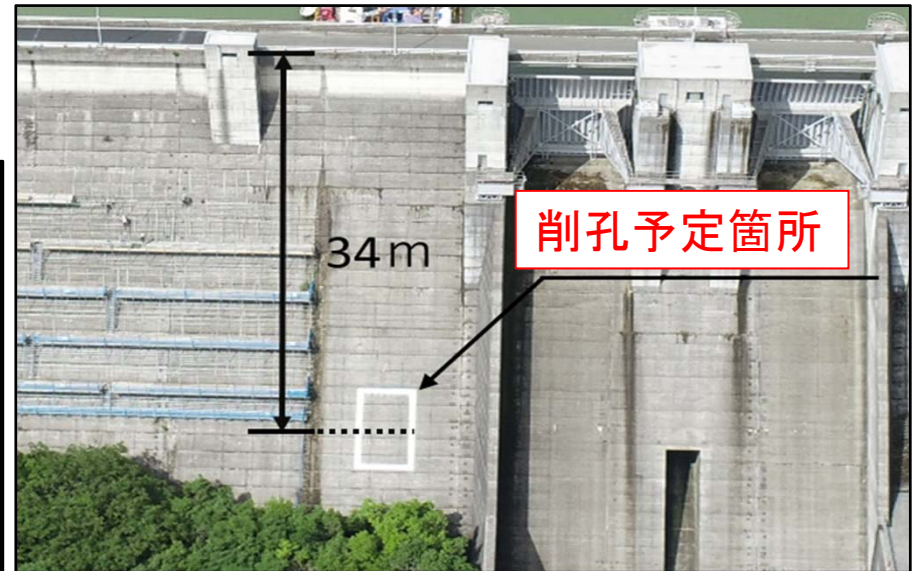
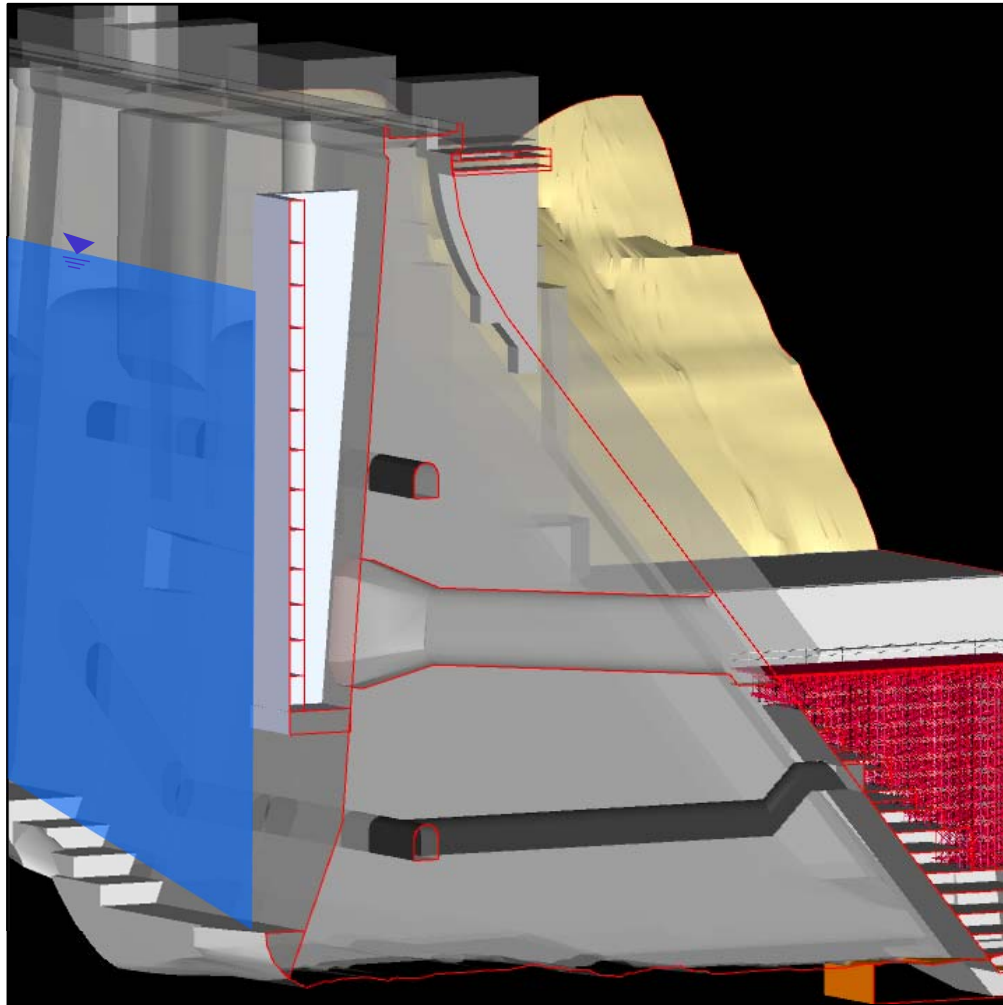
貯水池内で組み立て

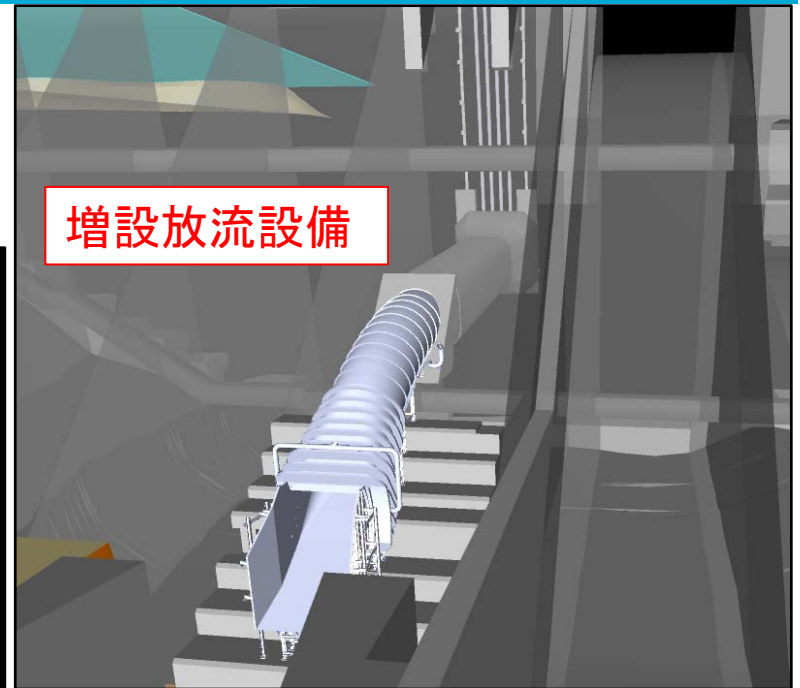
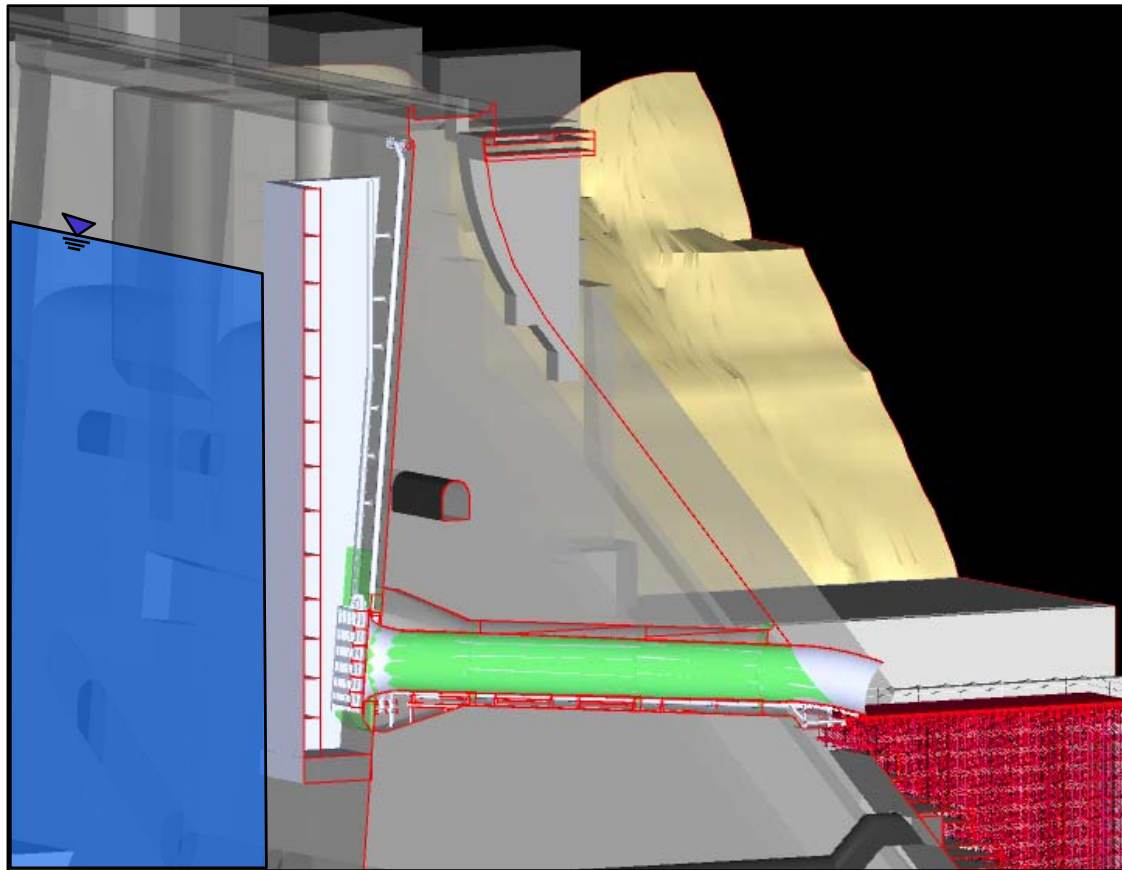


組み立て後にダム堤体に設置



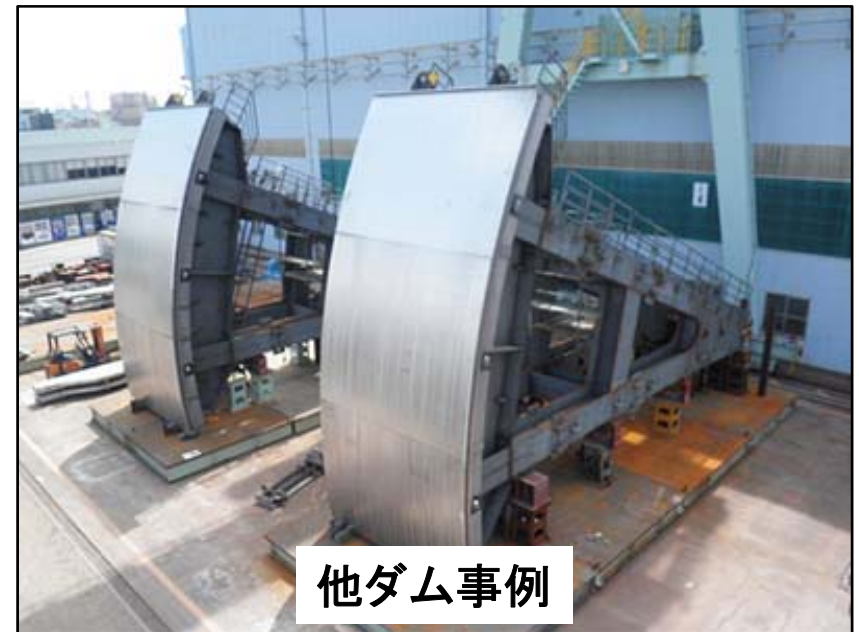
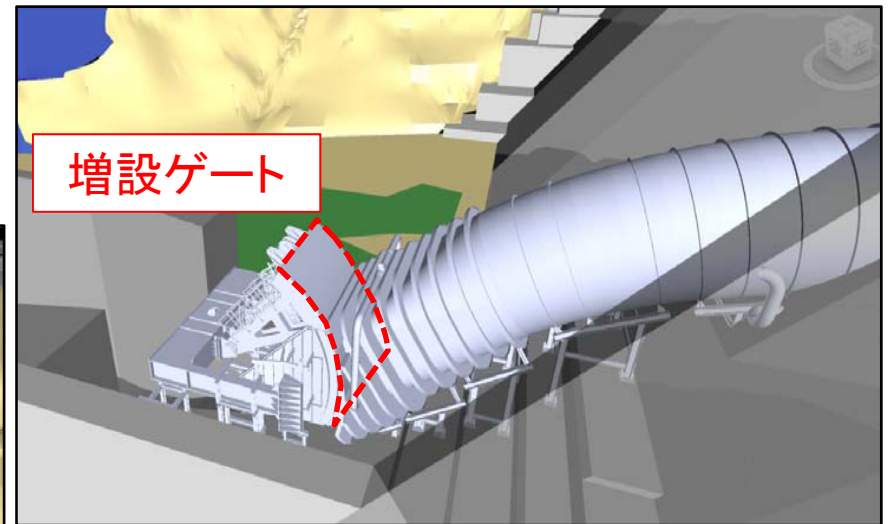
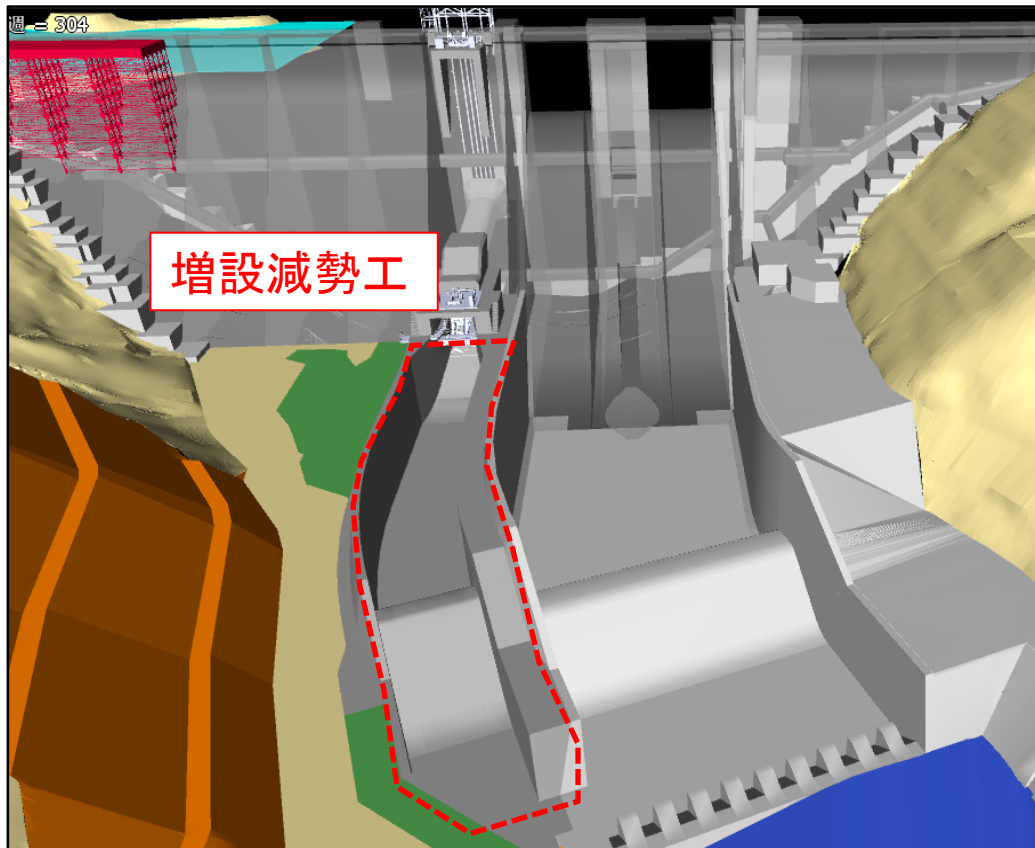
堤体削孔(令和7年度)





他ダム事例

増設ゲート及び減勢工(令和8～9年度)



完成予想図(イメージ図)

